



国際力動的心理療法研究会 第20回年次大会

International Association
of Dynamic Psychotherapy

非会員向け学会部分参加プログラム

次世代の心理療法家たちへ
—レジェンドから学ぶ—

後援：福島県／福島県教育委員会／郡山市／郡山コンベンションビューロー
ライオンズクラブ心の復興プロジェクト震災復興心理・教育臨床センター
福島復興心理・教育臨床センター

大会会長よりご挨拶

日本の精神医療、心理臨床において力動的心理療法は十分な仕事をなし得ているでしょうか。非常に危機的な状態にあるというのが我々の実感です。そのことは、東日本大震災後の予防的・治療的対応において、顕在化しました。効率性や経済性が優先され、個人の心の傷つきは否認され、心のタフさが軽視される現代の日本社会において、タフな心を鍛え、心の自由と真実を追究する力動的心理療法の重要性はかつてなく大きくなっています。われわれは、この危機意識のもと、IADP 20周年となる今年の年次大会を福島県郡山市で開催し、このテーマに正面から取り組むことにいたしました。そして、一人でも多くの方々とともに力動的心理療法の文化を再構築する場を創りたいという願いから、20周年記念プログラム「力動的心理療法の危機」および事例検討「レジェンドからのギフト」を部分参加プログラムとして、より多くの専門家の方々にもご参加いただけるようオープンにしました。

20周年記念プログラム「力動的心理療法の危機」は、IADPの創設者であり理事長の小谷英文先生による基調講演にはじまり、続くダイアログでは、日本の精神分析学会、心理臨床学会を牽引してこられた牛島定信先生、鏑幹八郎先生をシンポジストに、森田療法の立場から北西憲二先生をコメンテーターにお迎えしました。アメリカからお招きした3名のアナリスト/セラピストを加えた贅沢な講師陣とともに、参加者全員で熱い対話をしたいと願っています。

事例検討「レジェンドからのギフト」は、日本のレジェンド・セラピストである牛島定信先生、鏑幹八郎先生に加え、9.11後の子どもと青年のPTSD治療の陣頭指揮をとったウィリアム・アランソン・ホワイト研究所のセス・アロンソン先生、PTSDの専門家世界各地で臨床をされてきたラルフ・モーラ先生の4名のスーパーヴァイザーによる事例検討セッションです。われわれ臨床家にとって一番学ぶことが多いのは一つひとつの事例の検討からです。そして、マスターセラピストの働きが一番よく学べるのは事例に向き合う先生方の姿です。参加者も一人の臨床家として能動的に参与し、学び合うセッションを創りましょう。

皆様のご参加を心より歓迎いたします。

第20回年次大会 大会会長
石川 与志也

プログラム

2014年11月21日(金)

14:30-15:30

エドワード・ピニー記念大会基調講演
「力動的心理療法の危機」

講師：小谷 英文 (IADP 理事長/PAS 心理教育研究所理事長)

15:45-18:45

20周年記念ダイアログ
「力動的心理療法の危機—基調講演を受けて」

オーガナイザー：小谷 英文 (IADP 理事長/PAS 心理教育研究所理事長)

シンポジスト：牛島 定信 (三田精神療法研究所)

鏑 幹八郎 (広島大学名誉教授)

コメンテーター：北西憲二 (森田療法研究所・北西クリニック)

参加費 5,000 円

2014年11月23日(日・祝)

10:00-12:00

事例検討

「レジェンドからのギフト」 Gift from the Legends

スーパーヴァイザー：

・牛島 定信 (三田精神療法研究所)

・鏑 幹八郎 (広島大学名誉教授)

・セス・アロンソン (ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所 ファカルティ)

・ラルフ・モーラ (レイノルド・アーミー・コミュニティ病院 クリニカルサイコロジスト)

※ アロンソン先生、モーラ先生の事例検討には通訳が付きま。

参加費 5,000 円

講師紹介 (登壇順・敬称略)



小谷 英文, Ph.D.

専門：精神分析的な心理療法 困難患者心理力動/技法/略歴：アデルファイ大学高等臨床心理学研究所客員研究員、New York Univ. Post-Graduate Medical School 集団精神療法過程終了 広島大学助教授、国際基督教大学教授 同高等臨床心理学研究所創立所長を経て、現 PAS 心理教育研究所 創立理事長



牛島 定信, M.D.

九州大学医学部卒業。国立肥前療養所医長、福岡大学医学部教授、東京慈恵会医科大学教授を経て、三田精神療法研究所所長。日本精神分析学会元会長、日本森田療法学会元理事長、日本サイコセラピー学会前理事長、日本児童青年精神医学会元理事長他。



鏑 幹八郎, Ph.D.

教育学博士(京都大学)。臨床心理士。広島大学名誉教授。財団法人広島カウンセリングスクール理事長。社団法人日本心理臨床学会理事。



北西 憲二, M.D.

1970年東京慈恵会医科大学卒業。1979年東京慈恵会医科大学第三病院精神神経科科長(森田療法室に勤務、入院森田療法を主として行う)。1989年東京慈恵会医科大学 精神医学教室助教授。1995年 成増厚生病院 副院長を経て、1996年森田療法研究所・北西クリニックを開業し現在に至る。



セス・アロンソン, Psy.D., CGP, FAGPA

9.11における子どもや青年のPTSD対処の指揮をとる。ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所(ニューヨーク)フェロー/ファカルティ/トレーニング・スーパーバイジング・アナリスト、マンハッタン精神分析研究所ファカルティ・スーパーヴァイザー他。



ラルフ・モーラ, Ph.D., MSS, CAIA

米海兵隊のPTSD治療のエキスペート。アデルファイ大学高等心理学研究所にて学位取得後、アメリカ、ヨーロッパ、日本等において臨床活動を行ってきた。現在、レイノルド・アーミー・コミュニティ病院、クリニカルサイコロジスト。

大会事務局からのお知らせ

参加手続き

申込書にご記入の上、郵送または FAX で大会事務局（下記参照）までお申込みください。

参加申込み締切り：10月31日（金）

参加費

11月21日（金）	大会基調講演+20周年記念ダイアログ	5,000円
11月23日（日・祝）	事例検討	5,000円

大会事務局

〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9 PAS 心理教育研究所内
TEL&FAX：03-6407-8201（お問い合わせはこちらへ）

会場

郡山市労働福祉会館

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町 7-7

（JR 郡山駅より徒歩 15 分。福島交通バス「第二中学校」より徒歩約 2 分）

学会・大会情報

国際力動的心理療法研究会

「心理療法に関する本質的知識と技術の集積を力動的見地から行い、心理療法の人類にとっての意味を深め、その臨床効果性を高める研究を推進することを目的とした研究会である。

1995 年、理事長の小谷英文教授（国際基督教大学）と故 Edward L. Pinney 博士（元アメリカ精神分析医協会会長）によって設立され、年次大会とワークショップを行っている。」

理事長：小谷 英文（PAS 心理教育研究所／国際基督教大学名誉教授）

学会公式ウェブサイト：<http://www.iadp.info/>

第 20 回年次大会

大会テーマ：「力動的心理療法の危機—Facing Critical Moments: Dynamic Psychotherapy Now」

大会会長：石川与志也（ルーテル学院大学／東京大学駒場学生相談所）

日程：2014 年 11 月 21 日（金）～23 日（日・祝）

※学会プログラムには、この他に、力動的心理療法の知識・態度・技法（技術）を磨く講演・ワークショップ・ケースセミナーなどがあります。会員以外の方にも大会全日参加いただけます。詳しくは、大会ウェブサイト（<http://www.iadp.info/>）をご覧ください。